



私は毎朝、田家一丁目の妙本寺様の境内を通させてもらいます。今朝は辛夷のホワイトとピンク、枝れ桜と梅の古木が四者四様、見事な花の盛りでした。酸くそこに足をとめて見惚れ、辛夷の花に鼻を近づけ白の方がやや色香勝れりと呟いてみました。

そして広く

みることのすすめ

もない境内ですが、手入れの行届きと調和、花の咲き頃をうまく鉢合わせして植樹がなされているのに感心しました。

私は朝、教室へ行くとすぐ「今朝見てきたこと」というショートタイムを設け、新鮮さを売物にした話題で一日をスタートさせました。月雪花への関心、この期の子どもへのこのテの妙味を会得させるなど、所詮かなわぬ夢ですが、それでも尊敬すべき受持の先生が、「好きだこの花は」など言おうものなら、条理わから

ぬながらも子ども心に「見たい私も私も」と心動かしてくるものです。

そんなことを丹念に積み重ねながら、子ども等は自然への眼と愛を育てていくのだと思うのです。

ついながら、境内や会得という読み違い易い言葉もここで教えます。

これは、四月十九日の職員朝会で話したものです。

当今の人、小田実氏の何でも見てやろう」は、貧乏でエネルギッシュな若者向きの人生修業や教訓にはな

た。

俺もそうなる

運命だろう

●四月早々、

森澄雄氏の近況数首が新聞に載った。その中の一首、

雪嶺より花高くて辛夷咲く

辛夷への連想を四つ三つ飛び石よりしく並べてみて

みたが「たった一つの、好きなものをだけを見ていく」という流儀は、跋行の人間

形成、危険につながらよう

だけれど、スダのこくきよう

うしつはそれを容認する。

書くは難にして重、見る

は易にして軽、などない

うが、ドウシテ、ドウシテ、

ソウカナ。(須田英夫)

去る。その口惜しさは、良

い思い出ばかりの上川の中

で、ただ一つの苦渋となつ

て今でも口中に残る。一抱

えもあつた大きな姫辛夷だ

った。



農協を市営駐車場に

広報4月15日号でお知らせしたように、西大通りの市営駐車場は3月いっぱい借用期間がきれました。そこでいままでも市の公用車の駐車場として利用していた新津農協を一般に開放します。市役所へ車で来られる際はご利用ください。

補導員が決まりました

少年の非行防止や有害環境改善などについて活躍していただく少年補導員の方たちが、今年は次のとおり決まりました。少年を非行の道へ走らせないためにも、みなさんのご協力をお願いします。(敬称略)

- | | | | |
|-------------|--------|-------------|--------|
| 横野勇蔵 (本町二) | 二一〇五〇九 | 田中春一 (田家三) | 二一三三九一 |
| 南雲ハル (秋葉一) | 二一三二四 | 米田ミチ (南町) | 二一三五〇九 |
| 小柳正二 (金沢町四) | 二一〇八五九 | 三星三郎 (山谷町三) | 二一六六六五 |
| 大野貞一 (本町二) | 二一一一九 | 石川卓 (結) | 二一六六六五 |
| 中山祐照 (車場) | 二一一二六六 | 甲田正輝 (金津) | 二一八四五五 |
| 柳原長助 (中村) | 二一五六一 | 中野祐吉 (本町三) | 二一〇四八 |
| | | 帆刈弘 (金沢町二) | 二一〇三六五 |
| | | 沢田録郎 (大鹿) | 二一三六六〇 |
| | | 結城健雄 (草水町二) | 二一四二二二 |

お買物、ご用命は市内で

銘菓
秋葉山・平和塔最中・三色だんご
御祝儀・仏事用菓子

御菓子司 (有) 羽入

新津市本町一丁目(バスビル前) 電話2-0462

住宅 どんな御相談でもお気軽に

羽田建築 TEL 2 6163

新津市金次町2丁目 設計、施工、監理